

JEITA

電子情報技術産業協会規格

Standard of Japan Electronics and Information Technology Industries Association

JEITA CP-5231C

ホーム受信システム機器（3.2GHz対応）の測定方法 Methods of Measurement on Cable Distribution Equipment for Home Use (3.2GHz)

2016年4月制定

2024年3月改正

作成

AV&IT標準化委員会

AV & IT Standardization Committee

発行

一般社団法人 電子情報技術産業協会

Japan Electronics and Information Technology Industries Association

目 次

ページ

まえがき

1 適用範囲	1
2 用語の定義	1
3 測定に関する一般規定	6
3.1 測定周波数	6
3.2 測定入力信号レベル	7
3.3 測定系インピーダンス	7
3.4 測定系の残留 VSWR	7
3.5 あき端子の処理	7
3.6 電源電圧	7
3.7 測定器の校正	7
3.8 利得調整器の調整	7
3.9 試験信号の変調	7
3.10 測定ケーブル	7
3.11 電源分離型ブースタの測定	7
3.12 測定場所	7
3.13 周囲温湿度	8
3.14 測定値	8
3.15 公差	8
4 受動機器の測定方法	8
4.1 各種損失の測定	8
4.2 VSWR の測定	10
4.3 漏洩電界強度	13
5 能動機器の測定方法	16
5.1 利得周波数特性 帯域内利得偏差 利得調整範囲	16
5.2 利得安定度	18
5.3 雑音指数	20
5.4 2次相互変調妨害	21
5.5 3次相互変調妨害	23
5.6 ハム変調	25
5.7 帯域外減衰量	26
5.8 VSWR	28
5.9 消費電力	30
5.10 耐雷性	31
5.11 通電試験	31
5.12 供給電源電圧安定度	32
5.13 モニタ端子結合量	32
5.14 絶縁抵抗	34
5.15 CIN	35
5.16 漏洩電界強度	37
解説	40

まえがき

この規格は、一般社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）AV&IT 標準化委員会 受信システム・アンテナ標準化グループが **JEITA TSC-16**（電子情報技術産業協会規格類の作成基準）の様式によって作成したものである。

この規格は、著作権法によって保護されている著作物であるため、許可なくこの規格の一部又はすべてを複製・転載することを禁止する。

この規格は、この規格の一部が、工業所有権（特許権、実用新案権、意匠権など）に抵触する可能性に関係なく制定されている。一般社団法人 電子情報技術産業協会は、このような工業所有権に係る確認について、責任はもたない。

電子情報技術産業協会規格

ホーム受信システム機器（3.2GHz 対応）の測定方法

Methods of Measurement on Cable Distribution Equipment for Home Use (3.2GHz)

1 適用範囲

この規格は、テレビジョン放送を受信する、端末の数が数個から十数個までの小規模な 3224MHz まで利用するテレビ受信システム及びこれに準じるシステムに用いる機器に適用する。ただし、測定に当っては、必要に応じ各測定項目を取捨選択することができる。

2 用語の定義

この規格で用いる主な用語の定義は、次による。

2.1

信号レベル

75Ω 終端抵抗の両端の実効電圧値。単位は dBμV [0dBμV=1μV] で表す。なお、測定に際しては 75Ω 負荷抵抗に消費される電力で表示してもよい。その場合の単位は dBmW [0dBmW=1mW] で表し、0dBmW = 108.8 [dBμV] とする。

2.2

挿入損失

分岐器及び保安器などで、入力端子に信号を加えたとき、その入力レベルとその出力端子の出力レベルとの比をいう。

$$L_i = E_1 - E_2$$

ここに、 L_i : 挿入損失 [dB]

E_1 : 入力レベル [dBμV]

E_2 : 出力レベル [dBμV]

2.3

結合損失

分岐器で、入力端子に信号を加えたとき、その入力レベルと分岐端子の出力レベルとの比をいう。

$$L_b = E_1 - E_2$$

ここに、 L_b : 結合損失 [dB]

E_1 : 入力レベル [dBμV]

E_2 : 分岐端子の出力レベル [dBμV]

2.4

分岐端子間結合損失

分岐器で、分岐端子の一つに信号を加えたとき、その入力レベルと他の一つに分岐端子での出力レベルとの比をいう。

$$L_{bb} = E_1 - E_2$$

ここに、 L_{bb} : 分岐端子間結合損失 [dB]

E_1 : 入力レベル [dBμV]

E_2 : 出力レベル [dBμV]